

## インターバンクの声（2016年3月4日）

昨夜のロンドン市場からニューヨーク市場では、円だけでなくユーロや豪ドルに対しても、じりじりとドル売りが続き、ドル円は113円台中盤でアジア市場に戻ろうとしている。3月に入って、一度112円台前半まで円高が進んでいたドル円も、その後は114円台中盤まで円を売り戻す動きが続いたが、やはり円を売り込んだまま米雇用統計の発表を待てるほど相場の円安転換に自信が持てているわけではない証拠だろう。もっとも市場の週初めの大方の予想も、113円台中盤あたりで雇用統計を迎えるとされていたので無難な相場展開といっても良いだろう。水曜日に発表されたADP雇用統計は予想を少し上回ったが、昨夜のISM非製造業景況指数の雇用指数部分が50を下回ったので、今晚の雇用統計に対する不安や3月の利上げが消えたのではとの見方に繋がったのかも知れない。原油価格は横ばいが続き、ニューヨーク・ダウやナスダック指数も小幅上昇しているが、昨夜の為替市場に対する影響はほとんどなかったようだ。まずは今晚の米雇用統計からだが、ここから3月末までは中国の全人代やいくつもの経済指標、主要国中銀の政策決定会合など盛り沢山のイベントが予定されており、いつ大幅に円安や円高に動き出してもおかしくないだろう。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。